



令和2年11月12日

各位

会社名 近鉄グループホールディングス株式会社
 代表者名 取締役社長 小倉敏秀
 (コード: 9041 東証第1部)
 問合せ先 経理部長 磯川直之
 (TEL. 06-6775-3465)

通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

当社は、令和2年5月14日に公表した「令和2年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としていた令和3年3月期通期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 令和3年3月期通期連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	754,000	△63,000	△50,000	△48,000	△252.51
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (令和2年3月期)	1,194,244	49,380	47,224	20,561	108.16

(2) 修正の理由

令和3年3月期の通期連結業績予想につきましては、5月14日公表の「令和2年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言解除以降の収入の回復状況等を踏まえ、上記のとおり通期連結業績予想を算定いたしました。

国内の経済活動は、3密回避や施設への入場制限など一定の自主規制が継続するものと見込まれます。また、海外の渡航制限等は段階的に緩和されるものの、インバウンド旅客の入国制限は継続するなど、感染症対策の継続等により、厳しい事業環境が当面続くものと想定されます。通期連結業績予想につきましては、このような想定のもと、投資の抑制とコストの削減を織り込み算定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然不透明な状況にありますため、今後の状況の変化により業績が変動する可能性があります。また、今後連結子会社において事業構造改革を実施した場合に生じる費用につきましては、今回の業績予想に織り込んでおりません。業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 期末配当予想の修正

(1) 令和3年3月期期末配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	0 円 00 銭	未定	未定
今 回 修 正 予 想		0 円 00 銭	0 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (令和2年3月期)	0 円 00 銭	50 円 00 銭	50 円 00 銭

(2) 修正の理由

令和3年3月期は、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、コスト削減等の収支改善に努めるものの、多額の当期純損失の計上により大幅な純資産の毀損が想定されることから、財務健全性の改善に最優先で取り組むため、令和3年3月期の期末配当予想につきましては誠に遺憾ながら無配といたします。

株主のみなさまに深くお詫び申し上げますとともに、今後業績回復に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りたく存じます。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその達成を約束するものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上